

# 教育センター学びの丘研修員における学びについて

田辺市立龍神小学校

教諭 小谷 知弘

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように研鑽を重ねた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修講座や研修員研修を受講し、多くの知識や経験を得ることができた。特に、初任者研修や6年次研修、ミドルリーダー育成研修やマネジメント向上研修などを受講し、教職キャリア全体を俯瞰することで、学校現場において、自分がどのような役割を果たすべきなのかについて考えることができた。また、研修員同士の模擬授業を見合うことで、互いの実践的指導力を高め合うことができた。

研究では、1人1台学習端末を用いた情報活用能力の育成につなげるための授業づくりを行った。日本教育情報化振興会が公開している「情報活用能力ベーシック」を取り入れることで、和歌山県教育委員会の「情報活用能力一覧表」に対応した力を身に付けることができているか検証した。その結果、共同で1つのファイルを編集できるというネットワークの特性から、新たな視点を受け入れて検討しようとする能力等の習得につながった。

また、「1人1台学習端末を効果的に活用する授業づくり研究会」の取組に参加し、他校の実践事例を知ることができたことや、ICT活用の研修講座を受講したことによって、人と人とのつながりができたことなど、研修員ならではの学びを深めることができた。

今後は、和歌山県の教育課題の解決に主体的に取り組み、研修員生活で得た知識と経験を還元できるよう努めていきたい。